

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年12月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	誠貿易運輸株式会社
所在地	〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町2-27 テーオービル4階
代表者役職・氏名	代表取締役 富田 泰史
担当者連絡先	電話：045-662-8946
	メール： <a href="mailto:ishikawa@mosco.co.jp">ishikawa@mosco.co.jp</a>
ウェブサイトURL	<a href="http://www.mosco.co.jp/">http://www.mosco.co.jp/</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>誠貿易運輸株式会社は、創業1956年の通関業者です。 東京港・横浜港を中心に業務理念である 「Good Communication &amp; Quick Response」を実践し、 輸出入貨物の通関業務はもちろんのこと、 国内輸送や幅広いネットワークを利用した海上貨物の輸送まで、 安全に効率よく素早い対応と誠意のあるサービスをご提供いたします</p>
---

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	【環境】 ペーパーレス化推進	印刷枚数の詳細把握・削減 タイムカード等の見直し 電子帳簿保存法対応による書類の電子データ管理
□環境 ✓社会 ✓経済	【ダイバーシティ経営】 多様な人材が活躍できる環境の整備	育児時短勤務 小学校3年生まで 男性育休等取得率75% 管理職の女性の割合の倍増
□環境 ✓社会 ✓経済	【法令遵守】 【健康経営】	AE0通関業者として認定の継続 横浜健康経営企業として認定の継続

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	社員個人及び部署としての残業を管理し、必要外の残業を行わないように徹底している。有給休暇取得状況を定期的に管理職に通知している。									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる										8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	定期的に社員全員に職場における従業員満足度調査を行ない、結果の公表を行なっている。				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	育児時短勤務の延長や男性社員の育休等の取得しやすい環境づくりなどを行なっている。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	AEO認定通関業者として認定されており、認定の継続のため、適宜、定期的に従業員への教育訓練の機会を設けている。				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	横浜市健康経営企業として認定されており、継続して認定され鶴けるよう取り組んでいる。										3			8				
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	事務所内のノーネクタイ化などクールビズ・ウォームビズを推奨し空調機の利用をなるべく抑えられるように努めている									7.3				13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている									7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる					3.9			6.3					11.6	12.4				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9									12.4						
	22 【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
	23 【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6					12	13	14	15			
	24 【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9	11	12		14	15		17	
	26 【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる				4							11			14	15		17	
	27 【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

